

第1回「リンベル カタログギフト ラッピング大賞」受賞作品決定！ 優秀作は有料オリジナルラッピングとして実用化へ。

カタログギフトの企画・販売を行うリンベル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：東海林 秀典）は2月8日、ギフトラッピングの公募企画「リンベル カタログギフト ラッピング大賞」を初開催。授賞式を東京ビッグサイトにて行いました。

「リンベル カタログギフト ラッピング大賞」は、贈り手の想いまで届けるギフトをコンセプトに、今回初めて開催したものです。「ブライダル」と「出産」をテーマに、カタログギフトのラッピングアイデアを一般公募しました。応募のあった全176作品の中から大賞、優秀賞などが選ばれました。

大賞をはじめとするコンテストの上位作品については、6月をめどに当社の有料オリジナルラッピングとして実用化。大切な想いを届けるスペシャルラッピングサービスとして展開していきます。



上段左から 寺田一生氏、中山ダイスケ氏、西川りゅうじん氏、東海林秀典、板川信夫氏、芳賀久枝氏
下段左から 大賞の二階堂律子さん、市田真理さん、優秀賞の登坂恵子さん、石原郁子さん

■企画詳細

企画名： リンベル カタログギフト ラッピング大賞

募集期間：2016年12月1日～2017年1月25日

募集内容：「ブライダル」または「出産」をテーマにしたカタログギフトのラッピング作品

賞の構成：大賞：各1作品、計2作品 優秀賞：各1作品、計2作品 佳作：10作品

副賞：大賞：10万円の現金+5万円相当のリンベルカタログギフト

優秀賞：3万円相当のリンベルカタログギフト

佳作：1万円相当のリンベルカタログギフト

—— 本件に関するお問い合わせはこちらまで ——

《報道関係の方からのお問い合わせ先》
《お客様からのお問い合わせ先》

03(3246)1145 広報宣伝：番藤・上田
03(3246)1122

■審査員

審査員長：マーケティングコンサルタント：西川りゅうじん氏

審査員：デザイナー&東北芸術工科大学教授：中山ダイスケ氏

株式会社ビジネスガイド社 会長：芳賀久枝氏

株式会社セレクト 代表取締役：寺田一生氏

一般社団法人全日本ギフト用品協会 会長：板川信夫氏

リンベル株式会社 代表取締役社長：東海林秀典

■表彰式 2017年2月8日 13:00～

「第83回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2017」（東京ビッグサイト）弊社ブース内

■各賞受賞者

	ブライダル部門		出産部門	
大賞	市田 真理	東京都江東区在住	二階堂 律子	埼玉県所沢市在住
優秀賞	石原 郁子	愛知県日進市在住	登坂 恵子	千葉県松戸市在住
佳作	岡田 邦子	千葉県市原市在住	宮下 綾子	静岡県静岡市在住
	奥田 輝美	京都府長岡京市在住	木内 悦子	埼玉県さいたま市在住
	平田 美千代	東京都江東区在住	佐野 まさ枝	静岡県周智郡在住
	尾崎 聡子	大阪府摂津市在住	富樫 英子	埼玉県戸田市在住
ジュニア特別賞	山本 新望	京都府木津川市在住	山本 望愛	京都府木津川市在住

■社長メッセージ（要旨）／リンベル株式会社 代表取締役社長 東海林秀典

ギフト業界に身を置いて約30年。高度成長の合理化重視の流れの中、いつしか日本の伝統的なギフト文化は無駄なものとして捉えられる風潮が強くなってきました。一方で国内には贈り物に興味関心の高い女性を中心にラッピングに取り組む方が大勢いらっしゃいます。年に一度、その作品を披露する場を設けることで全国のラッピングへの関心を高め、その作品を実用化することで、ギフト文化の創造へとつなげられればと考えています。

■大賞受賞者のことば

（ブライダル部門 市田真理さん）作品コンセプト 「和洋 Style」

赤と白の和紙で和装を、白い和紙とリボンで洋装を表現。「長寿」「仲良きこと」の象徴である「鶴」を取り入れました。デザインの考案、包材の調達、制作までとても楽しく取り組むことができました。これからも受け取った方を笑顔にできる様なラッピングを続けていきたいです。

（出産部門 二階堂律子さん）作品コンセプト「出産祝いのお返し（男の子用）」

出産祝いのお返しをテーマにワッフルペーパーとサテンリボンで洋風ラッピングにし、「のし紙」のかわりに「内祝いカード」を添えました。ラッピングは贈る側の「おめでとう」という思い、お返しに品に込められた「ありがとう」という感謝の気持ちを伝える重要な役割を担っていると思います。

■総評（要旨）／審査員長 西川りゅうじん氏

「包む」という行いは贈る気持ちを伝える日本の文化そのものです。「包」の字はお母さんがお腹にいる赤ちゃんを大切にしている様子を表す象形文字ですが、両部門の大賞受賞作をはじめ参加作品はいずれも勝る劣らず、贈る想いを大切に包むラッピングばかりでした。RING BELL の名の様に心の鐘が響き合うカタログギフト市場の発展に大いに期待が高まります。